

## 2024 年度 卒業時アンケート結果（全学部計）

### <アンケート概要>

目的	追手門学院大学の教育・学生支援について、卒業生の回答を基に本学の教育改善や学生支援をより充実させていくこと。
対象	2025 年 3 月卒業生
実施期間	2025 年 3 月 18 日～3 月 31 日
実施方法	オンラインでの回答
回収率	85.5%（回答者：1,502 人 / 対象者：1,757 人）

### <設問>

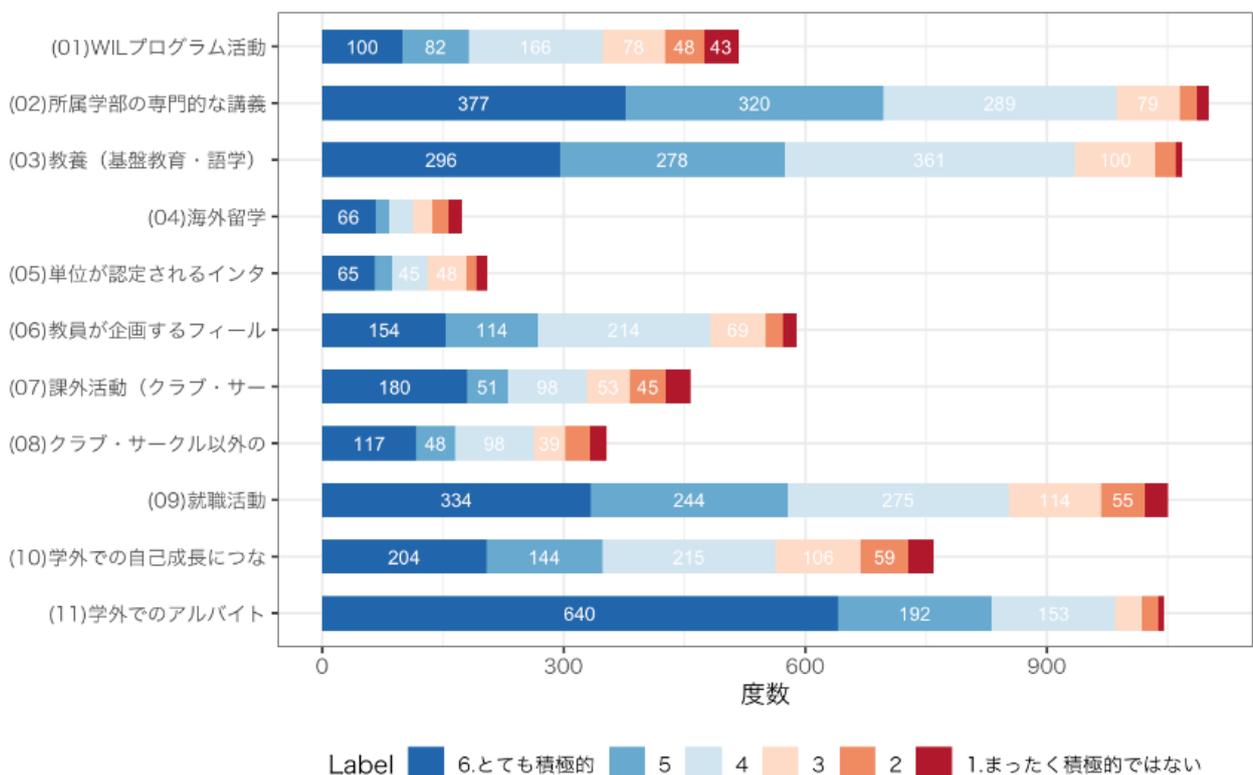
設問番号	項目	質問文
設問 1-1	学業・課外活動等への積極性	以下にあげた項目について、あなたはどの程度積極的に取り組んだと思いますか。
設問 1-2	大学の施設・制度等に対する評価	以下にあげた本学の施設・制度等について、どの程度充実していると思われましたか。
設問 1-3	大学の学生支援・サービスに対する評価	以下にあげた本学の学生支援・サービスについて、どの程度充実していると思われましたか。
設問 2	大学の養成する人材像に対する到達度。	本学での 4 年間の大学生活を通して、以下にあげた各項目(力)について、あなたはどの程度身についたと思いますか。
設問 3	教育理念の理解度	あなたは、追手門学院大学の教育理念である「独立自彊・社会有為」の意味について理解していますか。
設問 4	入学時点と比較したディプロマポリシーの到達度(学部別)	〇〇学部では、あなたが卒業時に身につけてほしい能力として以下のものを教育方針として掲げています。あなたは入学時点と比較してどの程度身についたと思いますか。
設問 5	大学生活に対する満足度	追手門学院大学の学生生活を振り返り、どの程度満足していますか。

## <集計結果>

設問 1-1. 以下にあげた項目について、あなたはどの程度積極的に取り組んだと思いますか。

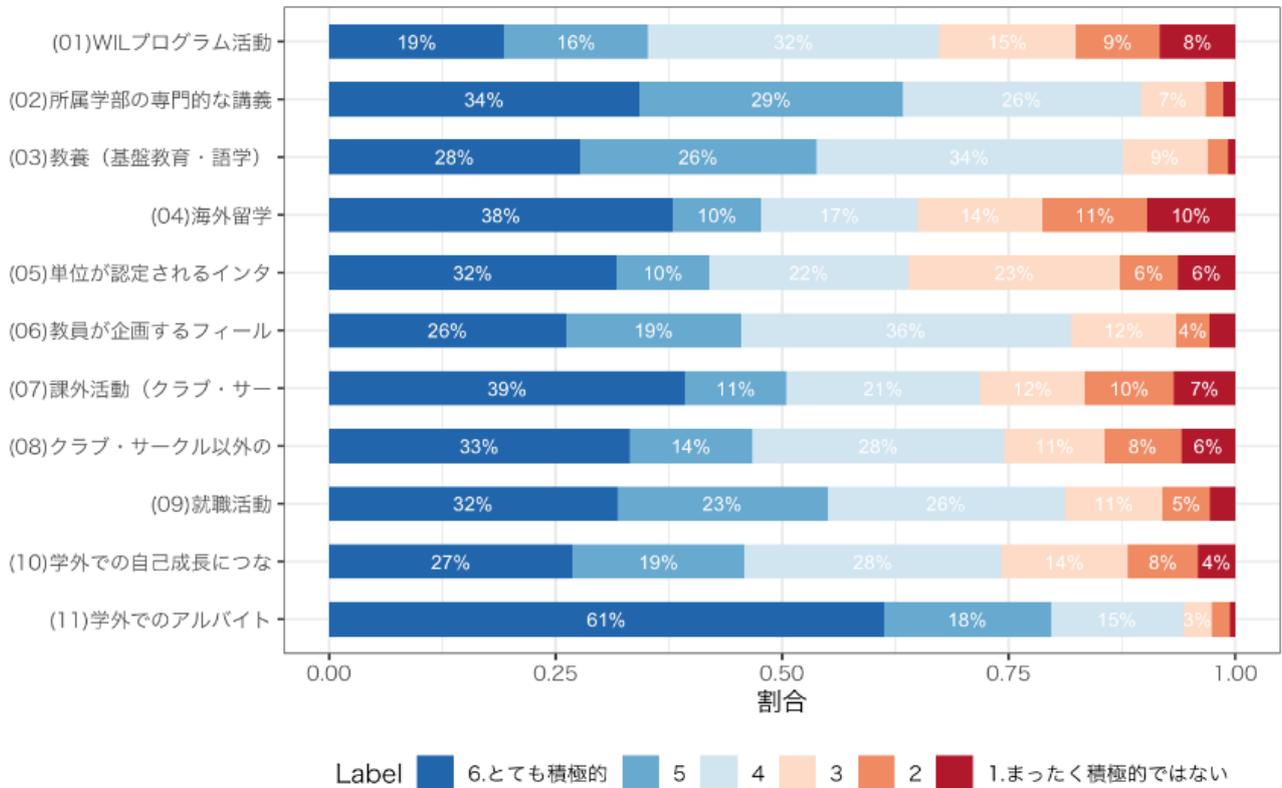
項目	6.とても積極的	5	4	3	2	1.まったく積極的ではない	経験なし
(01)WILプログラム活動	100	82	166	78	48	43	600
(02)所属学部の特 門的な講義・演習・実習・ゼミなどの科目	377	320	289	79	21	15	16
(03)教養（基盤教育・語学）の講義科目	296	278	361	100	25	8	42
(04)海外留学	66	17	30	24	20	17	942
(05)単位が認定されるインターンシップ	65	21	45	48	13	13	911
(06)教員が企画するフィールド・ワークなど	154	114	214	69	21	17	527
(07)課外活動（クラブ・サークル）	180	51	98	53	45	31	656
(08)クラブ・サークル以外の課外活動（追風、先輩プログラム、キャンドルナイト、情報SA、E-COスタッフ、オープンキャンパススタッフなど）	117	48	98	39	30	21	760
(09)就職活動	334	244	275	114	55	29	63
(10)学外での自己成長につながる活動（資格取得、ボランティアなど）	204	144	215	106	59	31	353
(11)学外でのアルバイト	640	192	153	33	21	6	70

【度数分布】



### 【比率】

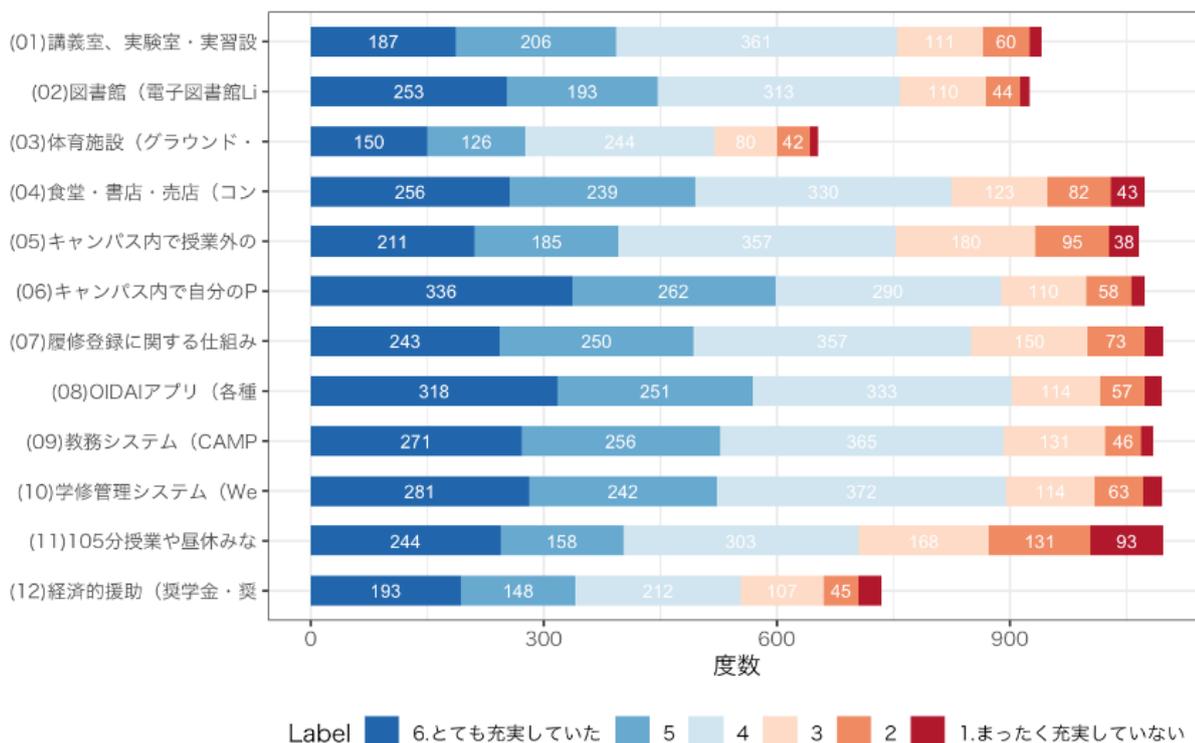
※経験ありの者の中での比率



設問 1-2. 以下にあげた本学の施設・制度等について、どの程度充実していると思われましたか。

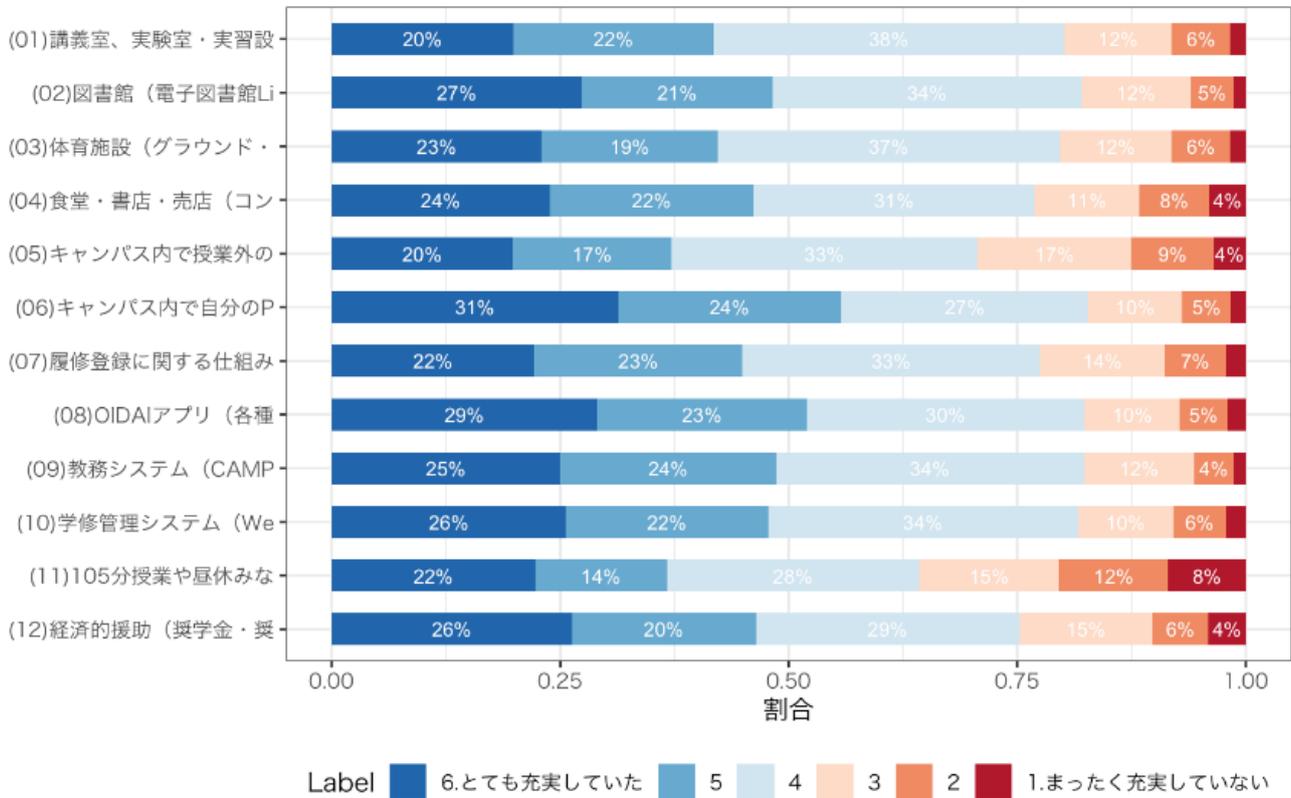
項目	6.とても充実していた					5		4		3		2		1.まったく充実していない		経 験 なし
	6.とても充実していた	5	4	3	2	1.まったく充実していない	経 験 なし									
(01)講義室、実験室・実習設備	187	206	361	111	60	16	171									
(02)図書館（電子図書館LibrariE、KinoDen、ディスプレイプロムナード含む）	253	193	313	110	44	12	186									
(03)体育施設（グラウンド・体育館・トレーニングルームなど）	150	126	244	80	42	11	458									
(04)食堂・書店・売店（コンビニ）・自動販売機	256	239	330	123	82	43	38									
(05)キャンパス内で授業外の時間を過ごす場所	211	185	357	180	95	38	41									
(06)キャンパス内で自分のPCを使って作業をしたり授業を受ける環境	336	262	290	110	58	17	36									
(07)履修登録に関する仕組み（履修のしやすさ、履修関連の情報）	243	250	357	150	73	24	15									
(08)OIDAIアプリ（各種情報配信、OISAポを含む）	318	251	333	114	57	22	16									
(09)教務システム（CAMPUSSQUARE）	271	256	365	131	46	15	23									
(10)学修管理システム（WebClass・KnowledgeDeliver・Canvas）	281	242	372	114	63	24	16									
(11)105分授業や昼休みなどの時間割	244	158	303	168	131	93	12									
(12)経済的援助（奨学金・奨励金・授業料免除等）制度	193	148	212	107	45	30	375									

【度数分布】



【比率】

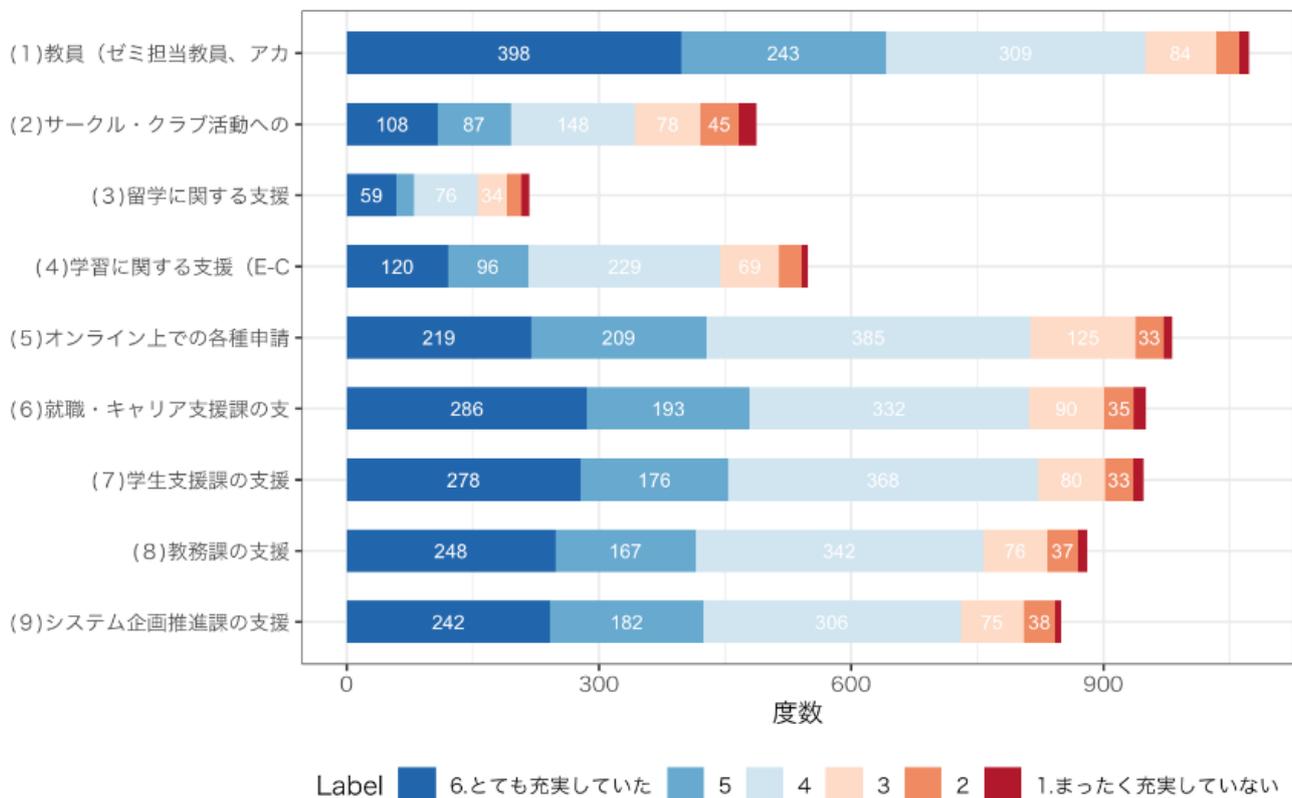
※経験ありの者の中での比率



設問 1-3. 以下にあげた本学の学生支援・サービスについて、どの程度充実していると思われましたか。

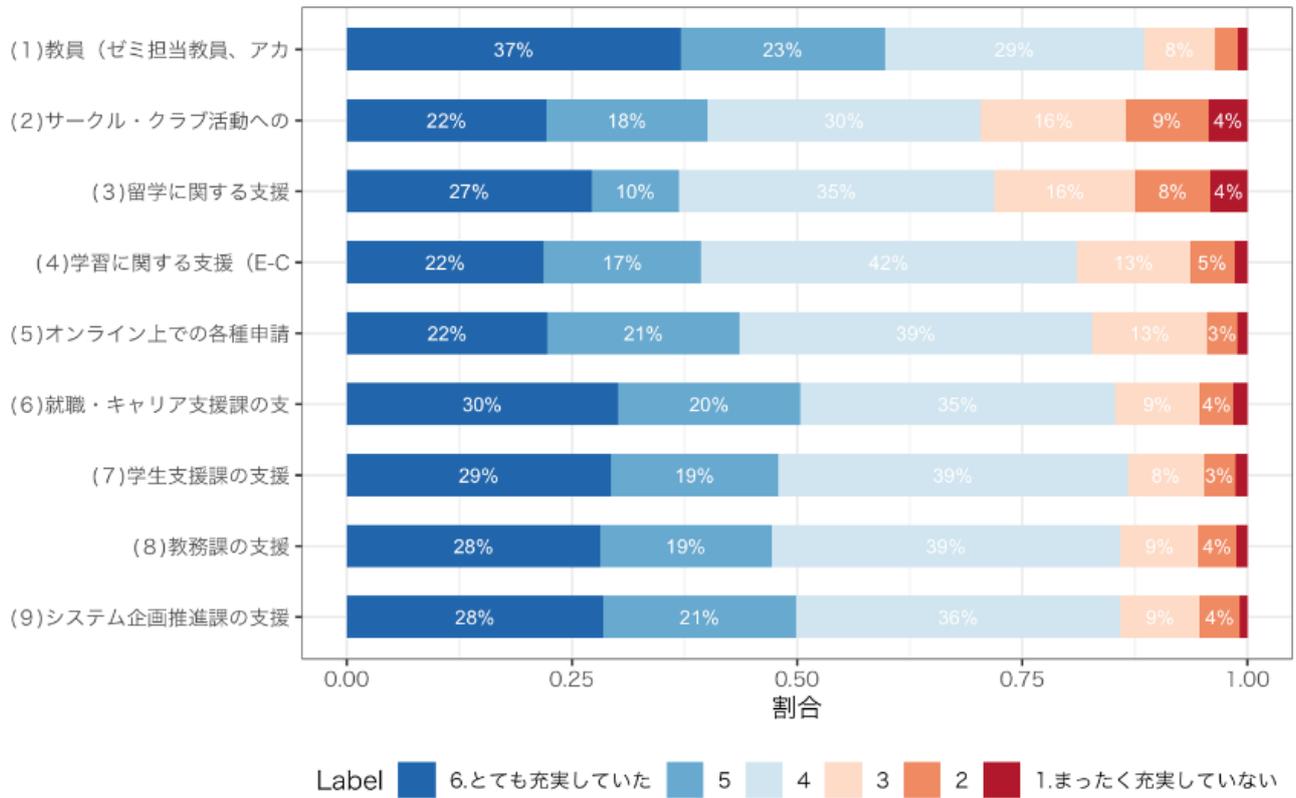
項目	6.とても充実していた					5		4		3		2		1.まったく充実していない		経 験 なし
	6.とても充実していた	5	4	3	2	1.まったく充実していない	経 験 なし									
(1)教員（ゼミ担当教員、アカデミック・アドバイザー）の助言・支援	398	243	309	84	28	11	37									
(2)サークル・クラブ活動への支援	108	87	148	78	45	21	623									
(3)留学に関する支援	59	21	76	34	18	9	892									
(4)学習に関する支援（E-CO、ライティング・ヘルプデスク、教職支援室、学習支援センターなど）	120	96	229	69	27	8	560									
(5)オンライン上での各種申請手続きなどの仕組み	219	209	385	125	33	11	130									
(6)就職・キャリア支援課の支援	286	193	332	90	35	15	158									
(7)学生支援課の支援	278	176	368	80	33	13	164									
(8)教務課の支援	248	167	342	76	37	11	230									
(9)システム企画推進課の支援（PCサポートなど）	242	182	306	75	38	7	260									

【度数分布】



### 【比率】

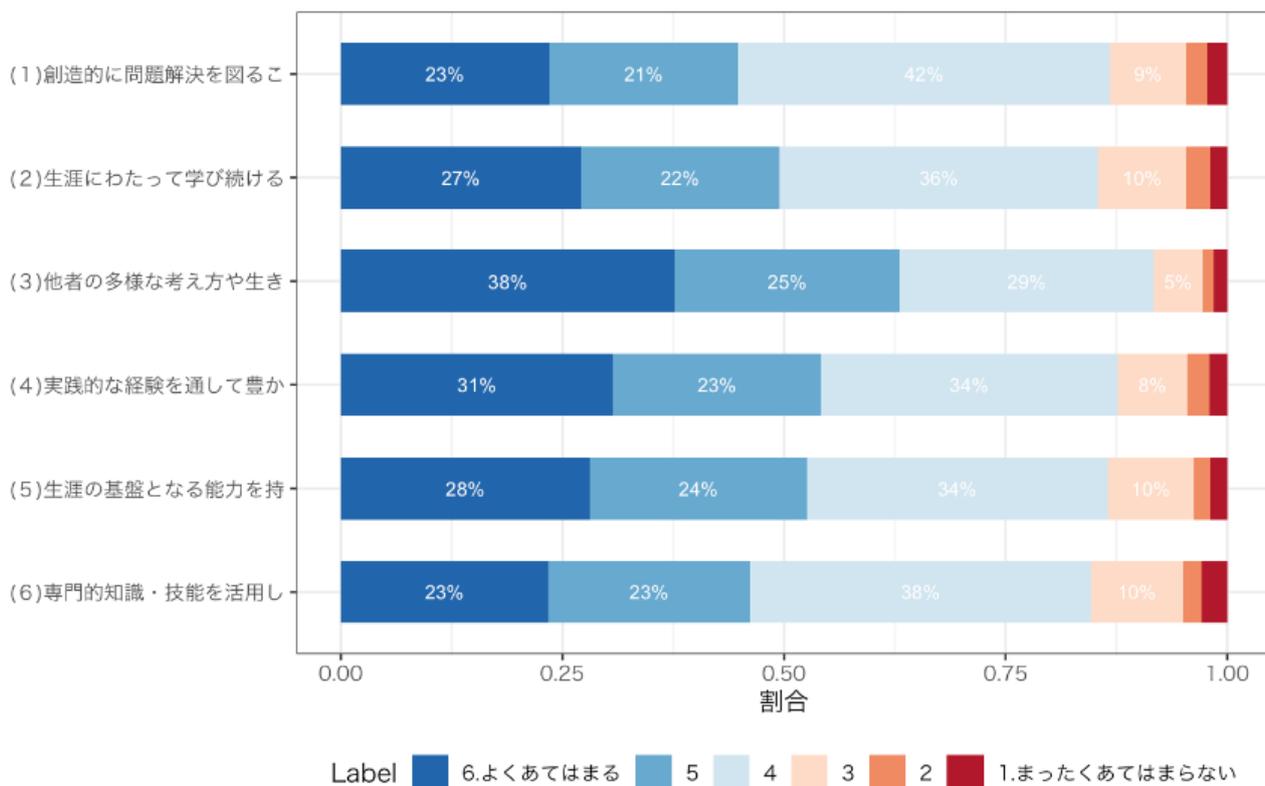
※経験ありの者の中での比率



設問 2. 本学での4年間の大学生活を通して、以下にあげた各項目(力)について、あなたはどの程度身についたと思いますか。

項目	6.よくあてはまる					1.まったくあてはまらない	
	6	5	4	3	2	1	
(1)創造的に問題を解決を図ることができる	261	237	466	96	25		26
(2)生涯にわたって学び続ける強い意志をもっている	299	248	397	110	30		21
(3)他者の多様な考え方や生き方を尊重できる	419	282	319	61	14		17
(4)実践的な経験を通して豊かな人間関係を形成できる	341	260	372	87	28		22
(5)生涯の基盤となる能力を持っている	311	271	376	107	21		21
(6)専門的知識・技能を活用して思考・行動できる	259	252	426	114	24		32

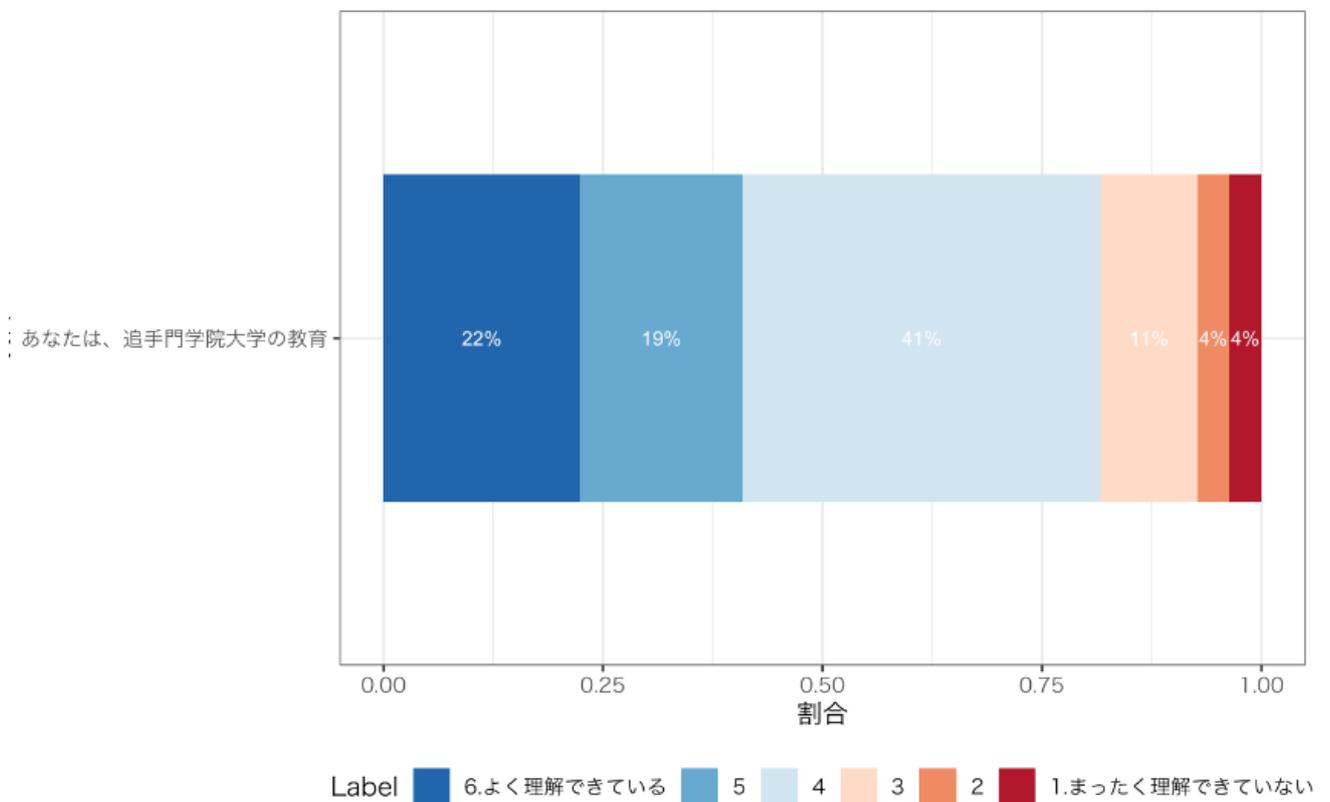
【比率】



設問 3. あなたは、追手門学院大学の教育理念である「独立自彊・社会有為」の意味について理解していますか。

項目	6.よく理解できている					1.まったく理解できていない	
	6	5	4	3	2	1	
あなたは、追手門学院大学の教育理念である「独立自彊・社会有為」の意味について理解していますか。以下にあげた選択肢の中から当てはまる数字1つ選択し、チェックしてください。	249	206	453	123	40	41	

【比率】

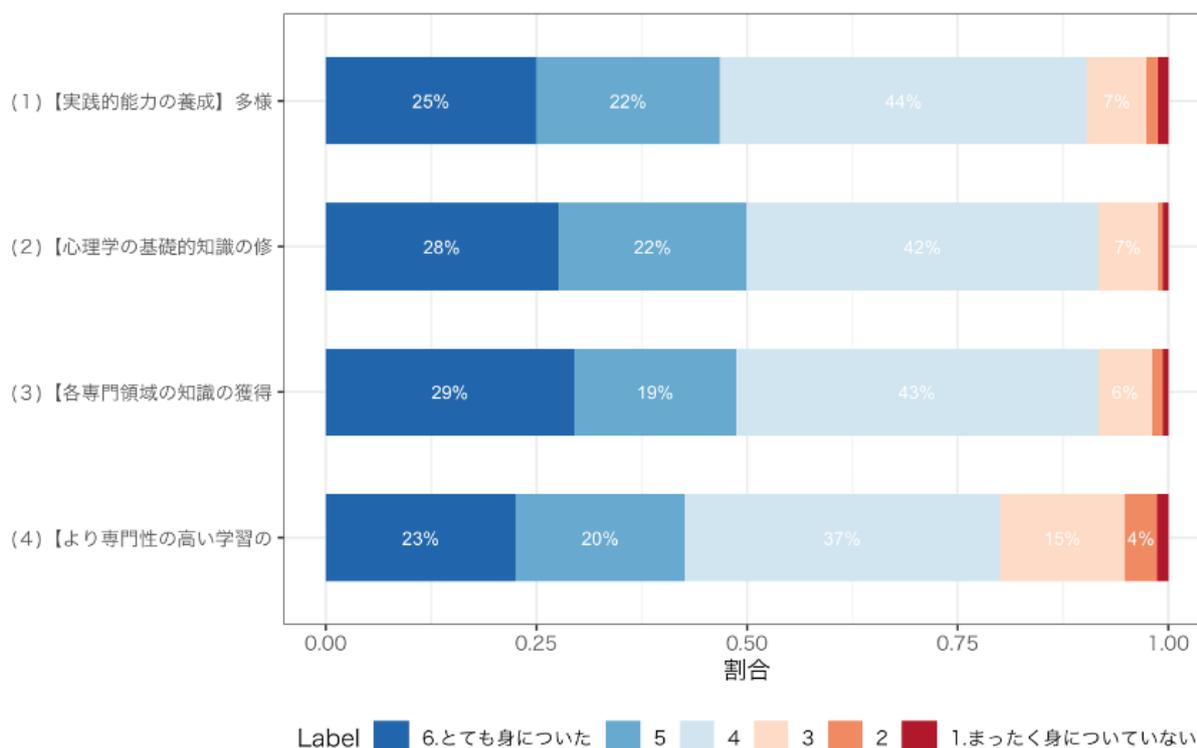


設問 4. ○○学部では、あなたが卒業時に身につけてほしい能力として以下のものを教育方針として掲げています。あなたは入学時点と比較してどの程度身についたと思いますか。

<心理学部心理学科>

項目	6.とても身についた					1.まったく身につけていない	
	5	4	3	2	1	0	
(1)【実践的能力の養成】多様な考え方を受容し、心理学を学ぶことによって培われた「思考力」、「想像力」、「分析力」等を用いて、社会や個人の抱えるさまざまな...	39	34	68	11	2	2	
(2)【心理学の基礎的知識の修得】心理学を学ぶために必要な基礎的知識ならびに研究法を習得することで、客観的な視点から人間の行動や心を考察し、科学的かつ批判的な思考を行うことができる能力を身につける。	43	35	65	11	1	1	
(3)【各専門領域の知識の獲得】心理学の各専門領域の知識と技術を学ぶことで、心理学的なものの見方や考え方を実社会に応用し、さまざまな価値観を有する個人や集団と柔軟かつ生産的な関係性を構築するための力を身につける。	46	30	67	10	2	1	
(4)【より専門性の高い学習のための基礎能力の養成と近接領域の知識の獲得】心理学と関連性の深い他領域の知識を積極的に学ぶとともに、より専門性の高い学習を行うための基礎となる知識や語学力を身につける。	35	31	58	23	6	2	

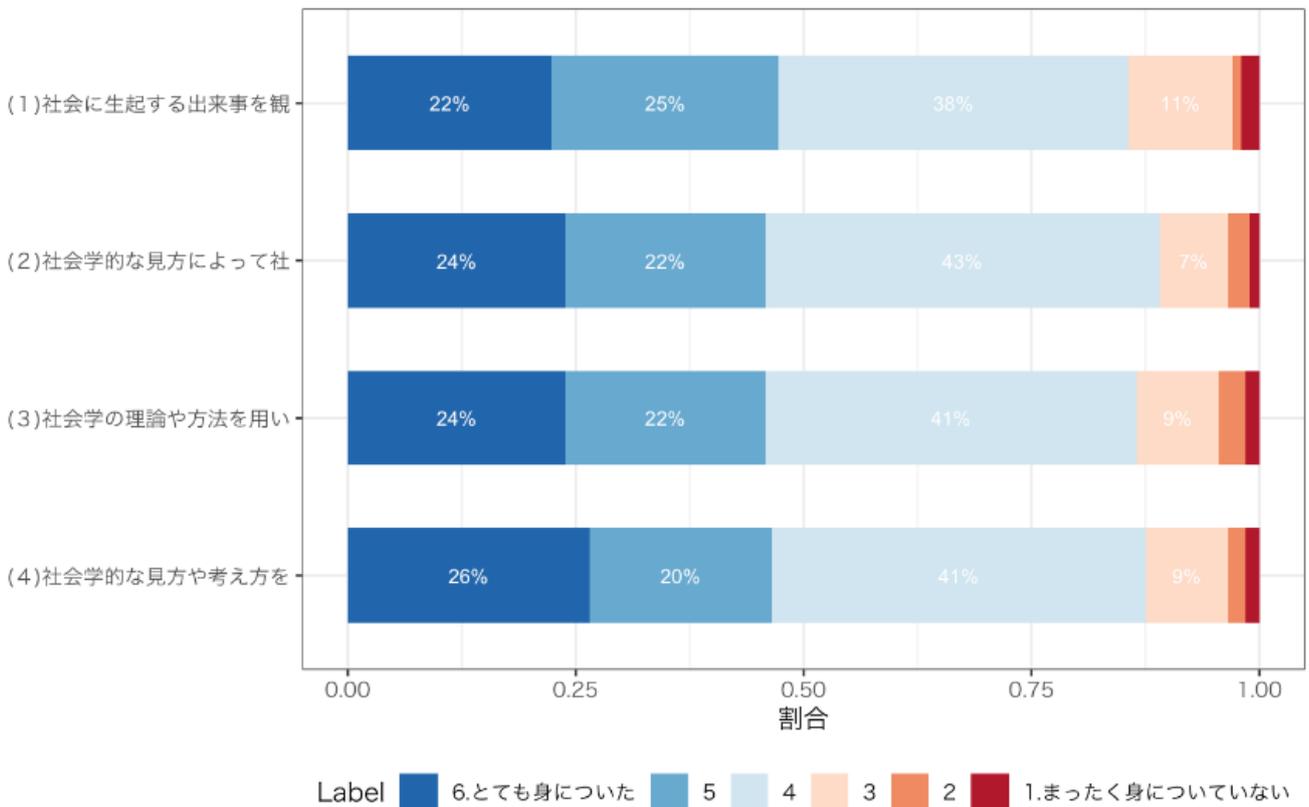
【比率】



<社会学部社会学科>

項目	6.とても身についた					5		4		3		2		1.まったく身についていない	
	6.とても身についた	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1)社会に生起する出来事を観察してそこから課題を見出し、社会学の知見を生かして考察して自分なりの解決策や企画を提示することができる。	45	50	77	23	2										4
(2)社会学的な見方によって社会全般および身近な組織や地域を理解し、それを踏まえて自分の役割を考えることができる。	48	44	87	15	5										2
(3)社会学の理論や方法を用いて具体的な社会事象や人間関係を把握し、そこから自分の考えなどを言語表現、身体表現を通じて的確に伝え、よりよい社会関係を構築することができる。	48	44	82	18	6										3
(4)社会学的な見方や考え方をより広い分野で応用するための知的な蓄積を持つことができる。	53	40	82	18	4										3

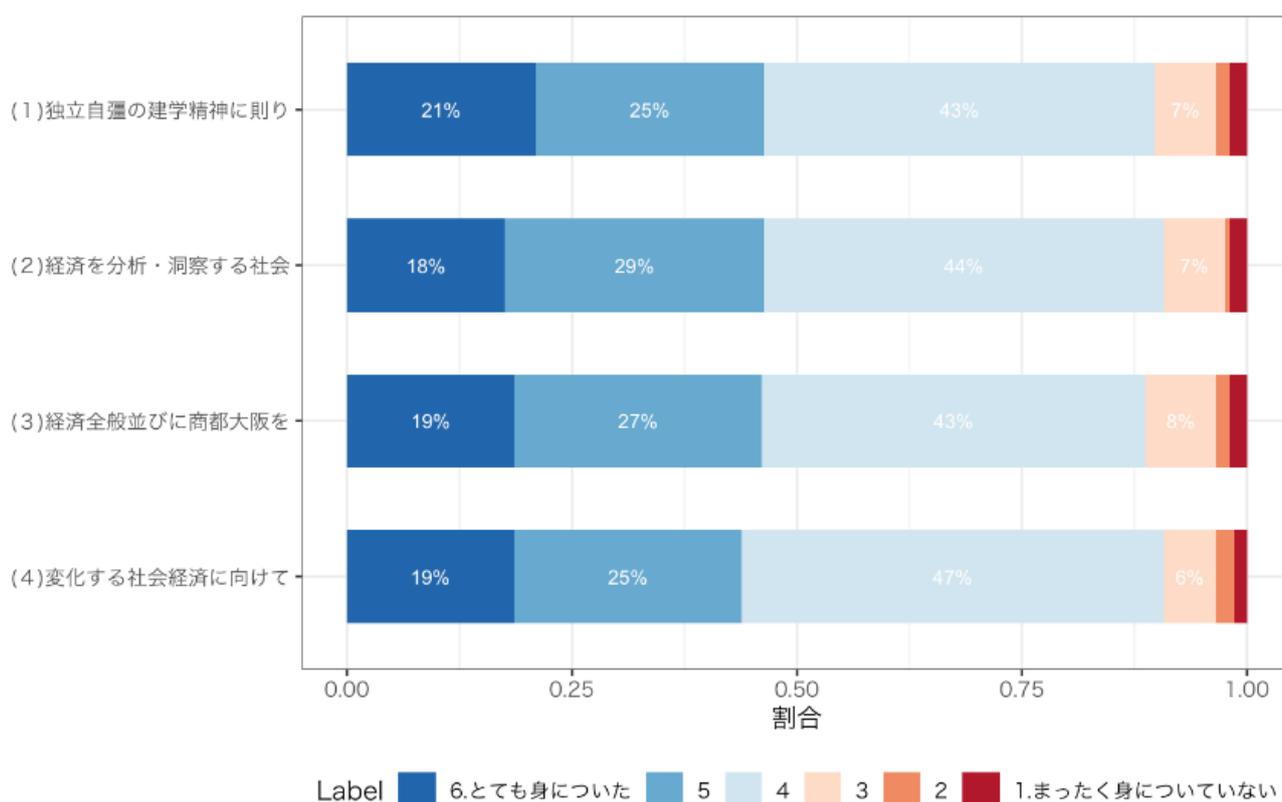
【比率】



<経済学部経済学科>

項目	6.とても身についた					5				4			3		2	1.まったく身につけていない
	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1) 独立自彊の建学精神に則り、社会に貢献するキャリアに進進できる	43	52	89	14	3											4
(2) 経済を分析・洞察する社会科学の方法を修得し、駆使できる	36	59	91	14	1											4
(3) 経済全般並びに商都大阪をはじめ、永く関わる社会事象に関する専門知識を吸収して、活用できる	38	56	87	16	3											4
(4) 変化する社会経済に向けて、学識を基にした先取的な提案を行い、実践する力を発揮できる	38	52	96	12	4											3

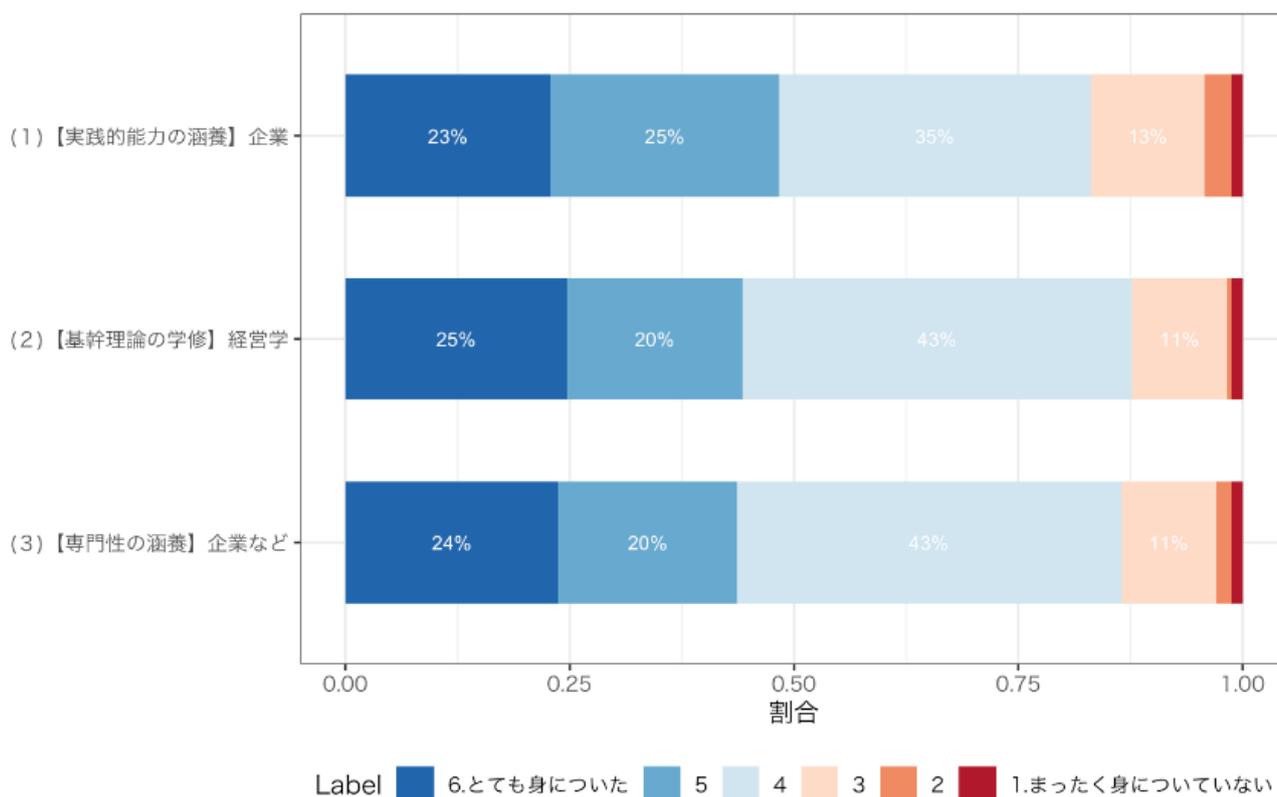
【比率】



<経営学部経営学科>

項目	6.とても身についた					5		4		3		2		1.まったく身についていない	
	6	5	4	3	2	1	0	6	5	4	3	2	1	0	
(1)【実践的能力の涵養】企業などの組織が直面する問題を体験的かつ協働的に学び、学修した理論や知見をビジネスの場面で活かすための力を身につける	54	60	82	30	7									3	
(2)【基幹理論の学修】経営学および関連領域の基幹的理論を学び、企業などの組織に関する現代的な問題を捉える検証力を身につける	58	46	102	25	1									3	
(3)【専門性の涵養】企業などの組織の問題を解決するために必要な専門的知識や理論を学び、組織の発展や改善に活かすことができる力を身につける	56	47	101	25	4									3	

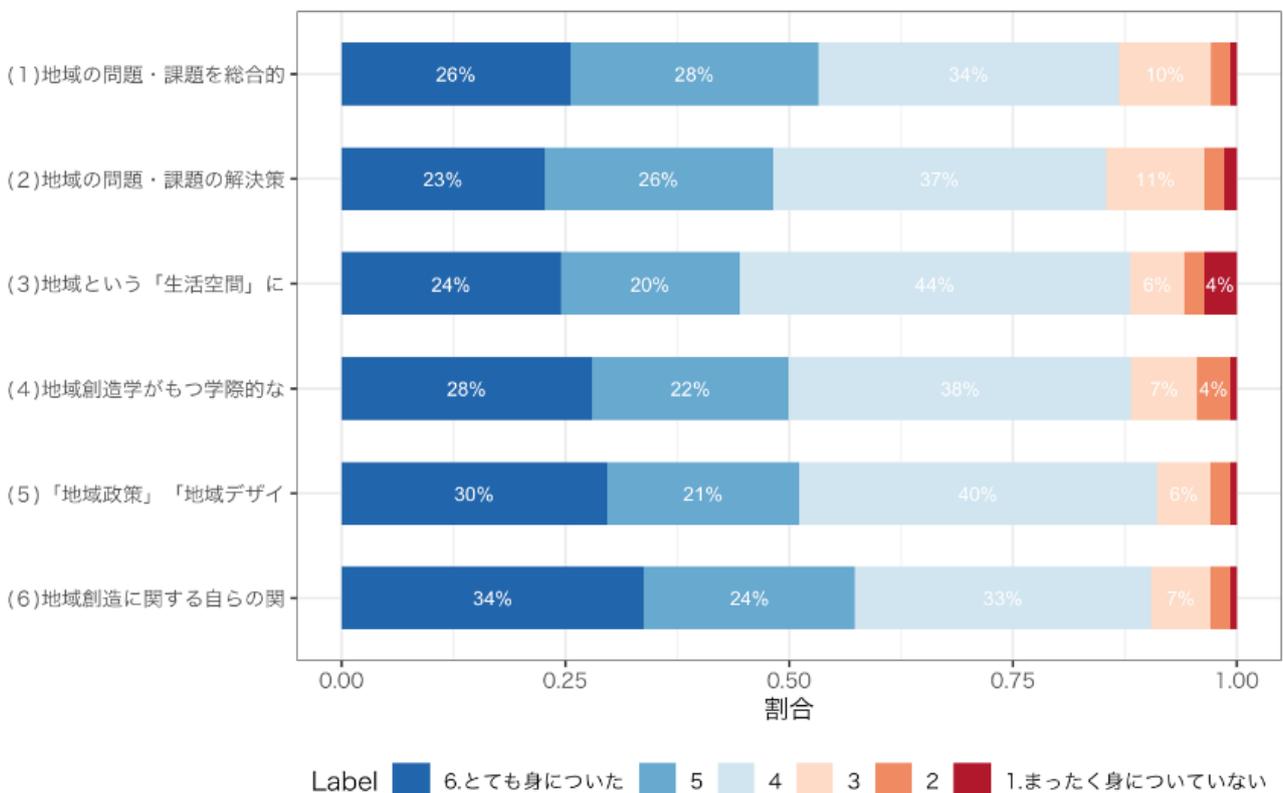
【比率】



<地域創造学部地域創造学科>

項目	6.とても身についた	5	4	3	2	1.まったく身につけていない
(1)地域の問題・課題を総合的かつ実証的に考察することができる。	35	38	46	14	3	1
(2)地域の問題・課題の解決策を、主体的に他者との交流・連携・協働の中で構想し、適切な方法で調査・分析・検討をした上で、他者に向けて効果的に発信することができる。	31	35	51	15	3	2
(3)地域という「生活空間」に関する制度や法、政治、経済、行政、文化などに関する知識と技能を修得している	33	27	59	8	3	5
(4)地域創造学がもつ学際的な性格を理解し、幅広い教養を身につけている	38	30	52	10	5	1
(5)「地域政策」「地域デザイン」「観光」「食農マネジメント」の観点から、地域再生や地域振興、地域活性化に関する専門的な理論や知識を修得している	40	29	54	8	3	1
(6)地域創造に関する自らの関心領域を拡大することができる	46	32	45	9	3	1

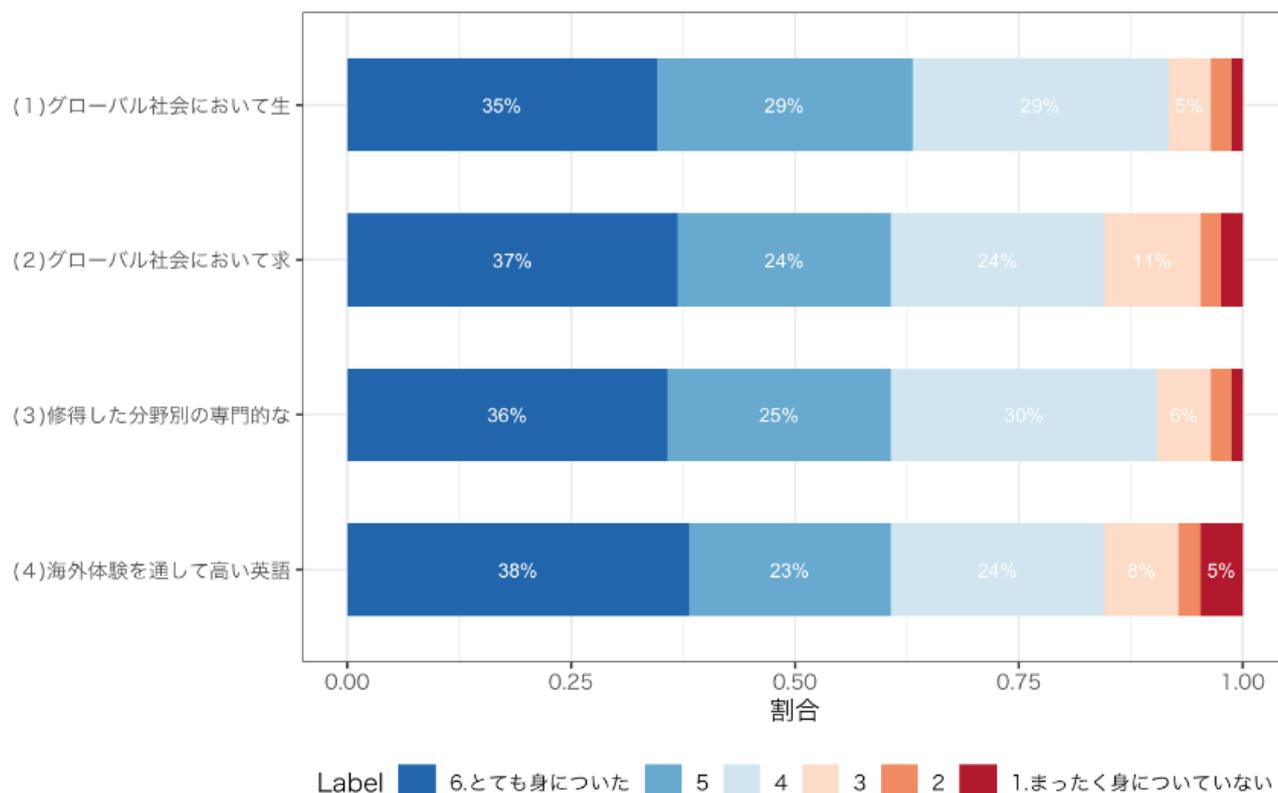
【比率】



<国際教養学部国際教養学科>

項目	6.と ても 身 につ いた					5 4 3 2			1.ま った く身 につ いて いな い
	(1)グローバル社会において生じ得る問題を自らシミュレーションし、獲得したスキルを活かしてその解決策を論理的かつ能動的に導き出すことができる。	29	24	24	4	2			1
(2)グローバル社会において求められる英語のスキルを基礎から応用までバランスよく習得し、グローバルな場において積極的に英語で相手とコミュニケーションを図ることができる。	31	20	20	9	2			2	
(3)修得した分野別の専門的な知識と技能をグローバル社会において応用的かつ実践的に用いることができる。	30	21	25	5	2			1	
(4)海外体験を通して高い英語運用力を身に付け、同時に異文化の受容と自国文化の理解を深めることができる。その上で、英米の歴史・文化・文学、及び英語学の知識を獲得し、英語教育の現場等においてそれらを応用的に用いることができる。加えて国際的な観点から、総合的かつ相対的に日本文化を眺めることができる。	32	19	20	7	2			4	

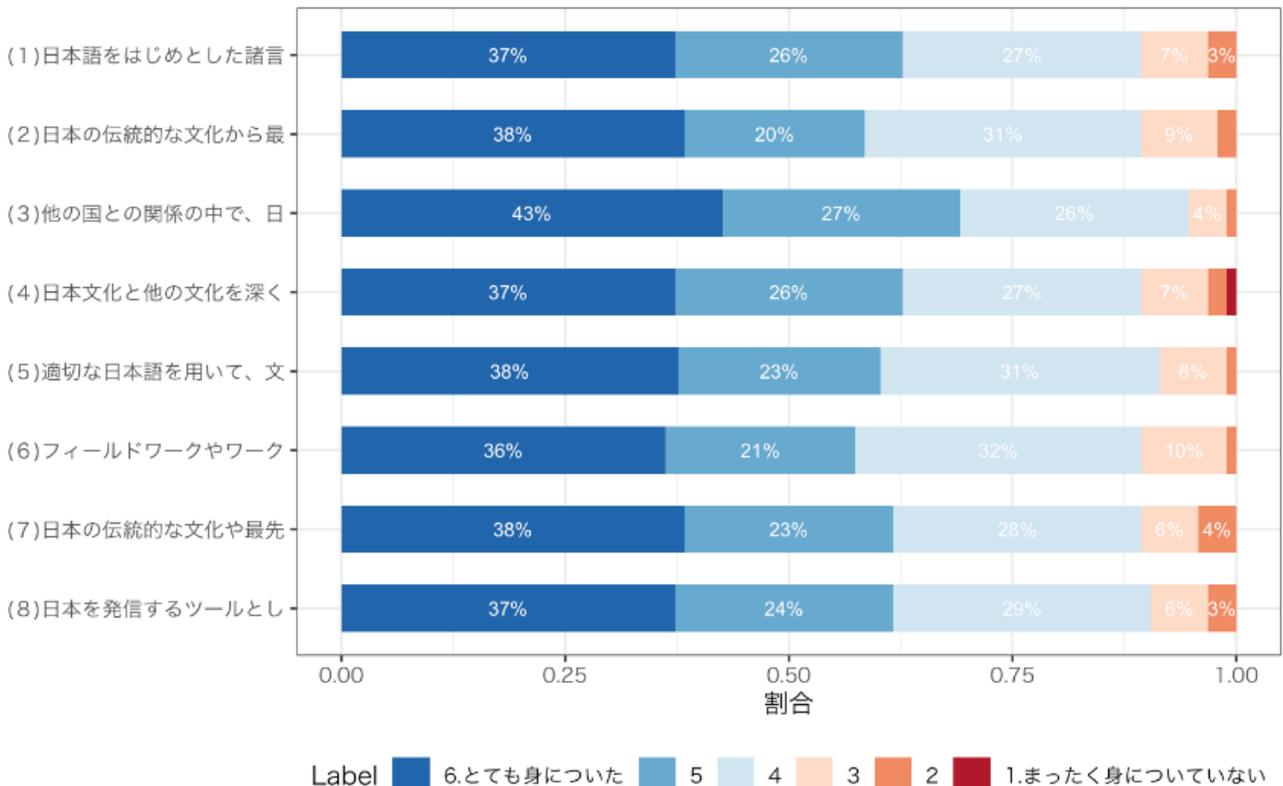
【比率】



<国際教養学部国際日本学科>

項目	6.とても身についた					5		4		3		2		1.まったく身についていない	
	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1)日本語をはじめとした諸言語について深く理解し、適切に運用することができる	35	24	25	7	3										0
(2)日本の伝統的な文化から最先端の文化まで深く理解し、説明することができる	36	19	29	8	2										0
(3)他の国との関係の中で、日本文化を見つめなおし、その価値や意義を客観的に考えることができる	40	25	24	4	1										0
(4)日本文化と他の文化を深く知ることで、様々な国際問題について自分自身の見解を持つことができる	35	24	25	7	2										1
(5)適切な日本語を用いて、文章および口頭にて自らの考えを円滑に表現することができる	35	21	29	7	1										0
(6)フィールドワークやワークショップを通じて、自分自身で課題を発見し、これを適切な方法で調査・分析・検討したうえで、他者に向けて効果的に発信することができる	34	20	30	9	1										0
(7)日本の伝統的な文化や最先端の文化を、文化の異なる人々へ発信する意欲を持つことができる	36	22	26	6	4										0
(8)日本を発信するツールとして、日本語以外の諸言語を積極的に学ぶ意欲を持つことができる	35	23	27	6	3										0

【比率】



設問 5. 追手門学院大学の学生生活を振り返り、どの程度満足していますか。

項目	6.満足	5	4	3	2	1.不満足
(1)学業面の満足度	316	296	396	72	18	14
(2)課外活動の満足度	314	198	381	136	38	43
(3)施設・制度・対応の満足度	274	266	399	110	39	22
(4)進路の満足度	366	243	357	88	35	22
(5)交友関係の満足度	388	224	319	112	39	29
(6) (以上を踏まえた) 学生生活の総合的な満足度	346	328	335	71	18	10

【比率】

